

株式会社鳥取テレトピア 経営状況報告書

1. 法人の概要

- (1) 名 称 株式会社鳥取テレトピア
- (2) 目 的 ケーブルテレビ網を利用して鳥取市中山間地域（農村地域）における市街地との情報格差是正及び定住と生活基盤の向上を目的とする。
- (3) 設 立 年 月 日 昭和62年11月12日
- (4) 資 本 金 391,750,000円
(うち鳥取市159,500,000円)
- (5) 役 員 取締役 8名 監査役 2名
代表取締役社長 秋山 光行
- (6) 事 務 所 鳥取市安長221番地

2. 経営概要報告（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

売上高は、テレビ業務では契約者の減少、低額コースへの切り替え等により利用料収入が減少しました。前年度は「その他業務」にて鳥取市南部2町の光放送設備構築等の大型事業収入がありましたが、今年度は特需等無く、前年度比64,880千円減少（14.9%減）となりました。又、ネット業務では光インターネットキャンペーン実施などによる加入者の増加、及び上位コース（高速、高額）への切り替えにより利用料が増加となりました。光化工事が落ち着き、工事施工料が大きく減少したことにより前年度比69,182千円の減少（30.4%減）となり営業収益総額では、前年度比134,062千円減少（20.2%減）の529,873千円となりました。

又、売上原価は、テレビ・ネット業務ともに、通常の工事ボリュームに戻ったことを受け工事費が大幅に減少し、業務費用総額で前年度比69,317千円減少（14.2%減）の419,277千円となりました。損益状況は、売上総利益は前年度比64,746千円減少の110,596千円、経常利益は計画経常損失28,099千円に対し6,276千円増加、前年度比では52,041千円減少の経常損失21,823千円となり、当期純利益は前年度比42,446千円減少の当期純損失22,122千円となりました。

番組制作では、コロナ禍による取材制限も無くなり又、大幅な番組内容の変更等無く、通常の番組を放送することができました。引き続き、地域紹介番組、鳥取市議会中継など市民生活に密着した情報をリアルタイムに提供しました。

この他、今年度も鳥取県ケーブルテレビ協議会の共同制作として、「第105回夏の高校野球鳥取県大会」を生中継しました。

これからも地域の経済・社会活動に不可欠な社会インフラとしての責任を自覚し、信頼性の確保に一層の努力をするとともに、ケーブルテレビの原点である地域力を更に高め、情報発信機能の充実、強化を図り、地域の皆様の要望に積極的に対応してまいります。

〈主要施策の状況〉

① F T T Hサービスエリアの拡大

令和5年度に予定しておりました「稲葉山地区と東郷地区の幹線工事」は、ほぼ終了しました。これにより、幹線のF T T H化率は93%となりました。

又、南部地域におきましては、鳥取市が行った「ケーブルテレビ光化による耐災害性強化工事（河原地区）」によって、鳥取市南部地域全てがF T T Hサービスエリアになっています。

② 加入者獲得と顧客単価アップ

インターネット利用料を1年間割り引く「スタート割」も開始して1年を経過し、懸念しておりましたコースダウンも少なく顧客単価アップにつながりました。

又、既存の顧客に対しても、ランクアップの営業により全体的に上位コースへの移行も進んでいます。

③ I o Tサービスの導入検討

今年度中にリリース予定のC A T Vに特化したストリーミング端末は、導入の方向で検討しており、メーカーやコンテンツ事業者と話し合いを進めています。

又、スマートホーム機器については、世界統一規格が昨年誕生しました。

しかし、現在のところ対応機器が少ない為、各メーカーによる開発を待っている状況です。

④ 鳥取市役所本庁舎「コミュニティチャンネルスタジオ」の運営

昨年8月の台風7号接近時にはデータ放送およびL字放送を活用し、緊急避難情報や佐治川ダムの緊急放流情報などを市民に向け、リアルタイムに情報発信しました。

又、昨年度、鳥取市議会中継に新たに導入しました聴覚障がいのある方等に向けた「リアルタイム字幕表示システム」を行政の会議や市民集会等で活用しました。

⑤ 全県ネットワークの活用

米子で行われた夏の高校野球中継や鳥取県文化振興財団の音楽イベント等を、全県ネットワークを活用し映像配信しました。特に高校野球につきましては、恒例事業となり利用者からの反響もたくさんいただきました。

⑥ 電子ファイリングシステムの導入

令和5年度中に完了を目標としていましたが、想定していた以上に作業開始準備に時間を要しました。依然として作業継続中です。本件につきましては、令和6年度内に完了するべく鋭意作業を継続しています。

3. 令和5年度決算の状況

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<資産の部>		<負債の部>	
流動資産	112,941,556	流動負債	115,673,784
現金・預金	51,188,544	未払金	26,463,109
未収金	34,410,165	前受金	439,225
たな卸資産(貯蔵品)	15,538,160	預り金	423,350
前払費用	3,045,611	仮受金	0
未収入金(販売促進手数料)	4,543,576	未払法人税等	473,100
未収還付法人税等	4,215,500	未払消費税等	0
未収還付消費税等	0	短期借入金(当座貸越)	87,875,000
固定資産	448,395,015	固定負債	7,000,000
有形固定資産	440,720,203	退職給付引当金	7,000,000
建物	2,238,795		
構築物	287,018,344		
工具、器具、備品	151,019,138		
一括償却資産	443,926		
無形固定資産	6,827,611		
ソフトウェア	3,857,611		
電話加入権	2,970,000		
投資その他資産	847,201		
関係法人拠出金	297,200		
長期前払費用	550,001		
		負債の部合計	122,673,784
		<純資産の部>	
繰延資産	9,239,077	株主資本	447,901,864
繰延費用	9,239,077	資本金	391,750,000
		資本剰余金	0
		利益剰余金(繰越利益剰余金)	56,151,864
		評価・換算差額等	0
		新株予約権	0
		純資産の部合計	447,901,864
資産の部合計	570,575,648	負債・純資産の部合計	570,575,648

損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金	額
< 営業損益 >		
売上高		<u>529,873,003</u>
利用料及び契約料	406,022,668	
番組制作料	44,547,951	
その他収入	<u>79,302,384</u>	
売上原価		<u>419,276,644</u>
売上総利益		<u>110,596,359</u>
販売費及び一般管理費		<u>138,957,136</u>
営業利益 (損失▲)		<u>▲ 28,360,777</u>
< 営業外損益 >		
営業外収益		7,486,978
受取利息	8	
退職給付引当金戻入	0	
雑収入	<u>7,486,970</u>	
営業外費用		<u>948,881</u>
支払利息	948,881	
雑損失	<u>0</u>	
経常利益 (損失▲)		<u>▲ 21,822,680</u>
< 特別損益 >		
特別利益		<u>29,191</u>
前期損益修正益	<u>29,191</u>	
特別損失		<u>10</u>
固定資産処分損	10	
過年度著作権使用料	<u>0</u>	
税引前当期純利益 (損失▲)		<u>▲ 21,793,499</u>
法人税、住民税 等		<u>328,500</u>
当期純利益 (損失▲)		<u><u>▲ 22,121,999</u></u>

4. 令和6年度の事業計画

■今期の重点施策

① FTTH(光通信)サービスエリアの拡大

今年度は、最後に残った大正地区と米里地区の幹線光化工事に着手します。

これにより、幹線光化工事は終了となり、鳥取市内全域で光サービスを受ける事が可能となります。本工事終了後は、加入者宅の光サービスへの切替工事を順次行っていく予定です。

② 加入者獲得と顧客単価アップ

テレビ契約中でネット未契約のユーザーに対し、夏に向けてのキャンペーンを予定しています。

他社のインターネットサービスがご利用いただけない地域に特化した顧客獲得を計画しています。又、既存の顧客に対しても上位コースへの乗り換えを誘導していきます。

③ IoTサービスの導入検討

放送業界大手の「スカパー」がインターネットを利用し、番組視聴ができる専用スティックを発売する予定であり、CATV 業界もネットを利用した放送への対応が急務になっています。昨年よりCATV 専用スティックの開発が進んでおり、今年発売される予定です。当社も本製品を導入し、ユーザーの意見を取り入れつつサービスに反映していく予定です。

又、昨年からの継続案件ですが、スマート家電を当社サービスとして提供できないか検討していきます。

④ 鳥取市役所本庁舎「コミュニティチャンネルスタジオ」の運営

鳥取市役所本庁舎内の「コミュニティチャンネルスタジオ」を活用し、鳥取市広報番組や手話番組などの収録のほか、災害発生時等には関係部署と連携して市民生活に密着した情報をリアルタイムに発信していきます。

又、鳥取市議会中継で導入し運用している聴覚障がいのある方等に向けたリアルタイム字幕表示システムを行政の会議等で活用してもらうようPRしていきたいと思っています。

⑤ サーバルームの地震対策

サーバルームの収容ラック、機器および予備品など耐震への備えを強化していくと共に、安全スペースの確保を行い、災害時の復旧活動が速やかに行えるよう対策を実施します。

⑥ 防災備蓄用品整備計画の検討

自然災害発生時に会社機能が罹災しても、最低限の業務運営が可能な態勢を検討したいと考えています。帰宅困難社員向けの食料や断水時の水分確保、簡易トイレの準備など、物品の備蓄計画を策定し、防災担当者が不在でも社員だけで災害対応が可能になるよう検討します。

5. 収支予算書

■収益の部

(単位：千円)

内 訳	令和6年度計画	備 考
テレビ業務計	427,814	
利用料	285,956	契約料(加入金)含む
番組制作料	47,885	
工事施工料	2,200	
保守管理料	10,555	
その他	81,218	
ネット業務計	164,185	
利用料	125,113	
その他	39,073	
営業収益計	591,999	
営業外収益計	2,210	
収益合計	594,208	

■費用の部

(単位：千円)

内 訳	令和6年度計画	備 考
テレビ業務計	342,016	
機器購入費	22,053	
工事費	80,762	
外注費(業務委託費)	8,293	
番組制作費	11,523	
番組購入費	67,514	
修繕費・保守料	7,712	
賃借料	43,874	
租税公課	6,022	
著作権等使用料	8,195	
減価償却費	77,000	
その他	9,068	
ネット業務計	113,219	
機器購入費	10,171	
工事費	32,058	
通信機器使用料	27,768	
修繕費・保守料	13,098	
賃借料	16,681	
減価償却費	12,500	
その他	943	
販売・管理費	153,490	
営業費用計	608,725	
営業外費用計	1,350	
費用合計	610,075	

■損 益

(単位：千円)

内 訳	令和6年度計画	備 考
経常利益	▲ 15,868	